



滋賀県立小児保健医療センター

小児神経内科シニアレジデントの募集について

当院では小児神経内科を年間単位でじっくり取り組みたい若手小児科医を募集しております。

当院では様々な小児神経領域の疾患のこれまでの蓄積があり、その診療に携わることができるだけでなく、小児神経科専門医として必要な検査手技やその解析などを体系的に効率よく経験・学習し、実践することができます。われわれのミッションは1人でも多くの先生に小児神経学の世界の面白さを経験してもらい、小児神経専門医として滋賀、さらには関西における小児神経診療の向上に寄与してもらおうと願っております。

滋賀県立小児保健医療センターで小児神経内科学を学ぶことのメリットとは？

✔ 小児神経領域におけるサブスペシャリティとしての知識・経験を積むことができる

当院は小児神経一般診療でよく診るてんかんや発達障害だけでなく、神経筋疾患、奇形症候群や神経代謝疾患など幅広い領域の疾患の診療を行っており、実際に様々な症例の診療に従事する機会に恵まれております。また、小児神経疾患に伴う合併症（内分泌代謝、循環器、免疫、腎臓、整形外科科、耳鼻咽喉科、眼科など）の診療も行っていることから、トータルケアといった視点での診療を行うことができます。

当院は以下の小児神経領域の専門研修施設に認定されており、当院での研修は各専門医取得に役立ちます。

小児神経専門医 認定研修施設

てんかん専門医 認定研修施設

臨床遺伝専門医 認定研修施設

✔ 小児てんかん診療に関するノウハウを学ぶことができ、実際の診療に役立たせることができる

当院では「小児てんかんクリニック」の外来を開設し、小児てんかんの包括的診療を目指しております。当クリニックでは抗てんかん薬などによるてんかん発作の抑制はもちろんのこと、免疫修飾療法やACTH治療など様々な治療を行うことで発達過程である小児の脳をてんかんから守ることを目指した診療を行っております。また、当院では古典的ケトン食だけでなく、修正アトキンス食、低グルセミック指数食など多様な食事療法の実績があり、他ではなかなか経験できない治療を勉強することができます。

多くの発作間欠期脳波や発作時ビデオ脳波モニタリング解析などの「脳波判読会」と、知っておくべき小児期のてんかん症候群の知識を深める「CASE-BASED LECTURE」とで構成される「SMCC 脳波カンファレンス」を定期的に行っており、小児てんかんの勉強をサポートいたします。

興味のある方は滋賀県立小児保健医療センター ホームページをご参照ください。

- ✓ 神経伝導検査や筋電図など電気生理検査を実際に行い、解析を行うことができる



〈神経伝導検査の実習風景〉

当院では月に1回 電気生理学検査実習会を行い、実際に検査手技を学ぶ場を提供しております。実際に検査を自ら行うことで、より検査原理まで深く学ぶことができ、臨床に応用することができると考えております。

- ✓ 遺伝学に関する知識を深めるとともに、多くの奇形症候群の診療を経験することができる

遺伝学は小児神経領域のみならず、多くの分野においても知っておくべき分野であり、近年、遺伝子検査の向上に伴いよりそのニーズは高まっております。当院では、京都大学大学院医学研究科 医療倫理学・遺伝医療学 准教授の和田敬仁先生の指導のもと遺伝療育外来、遺伝カウンセリング外来を行っております。また遺伝学に関する読書会や遺伝カウンセリングの症例検討会なども定期的に行っており、力を注いでおります。

- ✓ WISC IV などの神経心理検査を解析することにより、認知機能特性の理解を深めることができる

月に1回 WISC IV などの神経心理検査の結果をどう読み解くかということ学ぶ勉強会を行い、発達障害児の様々な神経心理検査プロフィールからその認知特性の理解を深めることができ、診療の幅を広げることができます。

- ✓ 重症心身障がい児（者）へのきめ細かいマネジメントについて学習し、診療に従事できる

当院は数多くの重症心身障がい児（者）の診療を行っており、呼吸管理や嚥下、また筋緊張のコントロールなどの医療実績だけでなく、リハビリテーションや福祉事業との連携が密にとることによりきめ細かいマネジメントを行っております。ぜひ、そのノウハウを学んでもらいたいと考えています。

- ✓ 在宅訪問診療の現場を体験することができる

当院のOBである熊田知浩先生が取り組んでいる在宅訪問診療を実際に体験してもらうことができます。地域医療との連携はこれからの小児神経診療において重要な役割を担っており、これからの地域医療として小児の在宅訪問診療は求められる医療分野であると思います

できるだけ多くの若い先生に知ってもらい、是非とも体験して欲しいプログラムです。



〈訪問在宅医療の実際風景〉

〈クリスマスでの診療〉

(患者さまのご家族の同意のもと掲載させていただいております)

✔ 小児神経に関する論文の執筆や学会や研究会で発表する機会を提供します

論文執筆や学会・研究会での発表は若い先生にとって身につける必要なスキルの1つとなります。また、小児科専門医や小児神経専門医の取得には筆頭者となる論文が必要です。当院ではこれまで多くの学会・研究会での発表や邦文、英文の論文を数多く報告しております（英文論文業績）。シニアレジデントに在る間に、できるだけ多くの発表の機会を与えかつ論文の執筆を行ってみたいと思っており、そのサポートをいたします。

当院で小児神経学を我々と一緒に勉強しませんか？

当院の小児神経科には古き伝統があり、かつ豊富な症例に恵まれています。若い先生が小児神経学をじっくり学び、さらに、学んだことを直ちに臨床の場で実践していくことができることが当院の最大のメリットだと考えております。当院では小児神経学を学ぶだけでなく、地域医療体制や保健福祉との関わりを深く持つことの重要性についても学び、体得することにより、今後の診療に生かしてもらえれば当方としても嬉しい限りと思っております。

当院での研修に興味がありましたらお気軽にご連絡ください。給与や勤務体制（特に育児でフルタイムの勤務が難しい方でも当方でできる限りの対応はいたします）などについて、いろいろ聞きたいことがある（応募するかどうかは別として）場合でも構いません。

一緒に小児神経学を勉強していきましょう！



連絡先：滋賀県立小児保健医療センター
小児科代表 加藤 竹雄

〒524-0022 滋賀県守山市守山5丁目7番30号
TEL: 077-582-6200
E-mail: tkokt4819@gmail.com